

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 1 1 回相模原市観光振興審議会				
事務局 (担当課)		環境経済局経済部商業観光課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 3 6 (直通)				
開催日時		平成 3 1 年 3 月 1 9 日 (火) 午後 2 時 0 0 分 ~ 3 時 4 5 分				
開催場所		相模原市役所 2 階 第 1 特別会議室				
出席者	委員	7 人				
	その他	-				
	事務局	9 人 (経済部長、他 8 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 諮問 (諮問書の受け渡し) 3 議題 ( 1 ) 仮称 : 第 3 次相模原市観光振興計画骨子 (案) について ( 2 ) 平成 3 1 年度観光振興計画策定スケジュールについて 4 閉会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

### 1 開会

### 2 諮問（諮問書の受け渡し）

経済部長から審議会会長へ諮問書の受け渡しを行った。

### 3 議題（○は委員、 は事務局の発言）

内藤会長が議長となり議事を進行した。

仮称：第3次相模原市観光振興計画骨子（案）及び平成31年度観光振興計画策定スケジュールについて事務局から説明した後、質疑応答を行った。

・仮称：第3次相模原市観光振興計画骨子（案）について  
主な意見等

- J A X Aの活用についての記載が少ないと感じる。リニア中央新幹線とともに、相模原市の核と成り得るだけでなく、M I C Eにも利用可能である。ただ、J A X Aは国の研究機関でもあり、観光目的の受入体制が整っているとは言えない状況なので、市とJ A X Aで観光面での連携も深めてもらいたい。
- 相模大野周辺のホテルへの聞き取りでは、ビジネス目的で訪れる外国人が多いとのことだが、どういった職種なのかまで把握できればM I C Eにも活用できる。座間市も含め、相模大野周辺には比較的大きい企業の工場等があるため、それらに関係する外国人の来訪が多いと考えるが、実態の把握を検討していきたい。
- 相模原市の観光と言えば緑区といったイメージがある。全市的に広く網羅するのではなく、集中した観光スポットを作るべき。
- 宮ヶ瀬DMOとはどのように連携しているのか。  
宮ヶ瀬ダム周辺の自治体の一つとして、宮ヶ瀬DMOに参画しているが、具体的な事業の検討までには至っていない。
- 本市の強みの中にも宮ヶ瀬ダムに関する記載があることから、具体的な事業の検討を積極的に進めるべきと考える。  
宮ヶ瀬DMOが事業エリアとして定めている中には、相模原IC周辺やリニア車両基地も含まれており、本市以外にも周辺の自治体として厚木市や愛川町、清川村が参画しているほか、（一社）相模原市観光協会をはじめ周辺の観光協会等もDMOに参画しているので、それらとの連携を深め具体的な事業の検討を進めていきたい。
- 相模原市には、相模原公園や麻溝公園等の多くの公園があるが、R E S A Sの目的地分析で淵野辺公園が上位に入っている理由は。

淵野辺公園は、銀河アリーナ（プール、スケート場）や野球場、テニス場等がある運動公園であるので、そういった施設を利用する人の訪問が多いことが推測される。

また、このデータは、ナビゲーションアプリにおける経路検索データの内、交通手段が自動車のデータを元としているため、他の公園では自動車以外での来訪（バス等の利用）が多いことが考えられるかもしれない。

#### RESASとは

地域経済分析システム（RESAS：リーサス）は、地方自治体の様々な取り組みを情報面から支援するために、まち・ひと・しごと創生本部事務局が提供する、産業構造や人口動態、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するシステム。

- 相模原市の認知度が県内7位とあるが、上位の自治体の方策も参考にしていけるべき。
- HP等のSNSでの発信も重要ではあるが、紙媒体の情報発信も必要と考える。
- 相模原市に関する情報接触経路としては、口コミが1番高いことから、市民に相模原市の良さを改めて知ってもらい、市民自ら相模原市の魅力を発信していくといった、流れを作っていくことが大事ではないか。
- 欧米系は個人、東南アジア系は団体で訪日する人が多いが、相模原市として、個人客と団体客のどちらをターゲットにしていくかが重要。最近は着地型・体験型観光が人気なので、個人客をターゲットにした方が良いと考える。
- 山梨県に比べて、市内におけるロードレースを盛り上げる機運の醸成が足りていないと感じる。

オリンピックに関しては、ロードレースだけでなく、ブラジルの選手団の事前キャンプ等もあるので、それらを有効に活用できるよう機運醸成を図っていきたいと考えている。

- 「広域的な連携の推進」で八王子市、あきるの市、大月市、都留市との連携があげられているが、リニア中央新幹線開通に向けて、品川、羽田、成田といった、今よりも広域的な連携も必要になる。
- 相模原市はSDGsで高く評価されている。住みやすいまちになれば人が増え、外国人も多く訪れるので、交流も増えて、結果的に観光につながると考える。長期的な視点で考えていくことが重要。

#### ・平成31年度観光振興計画策定スケジュールについて

事務局より平成31年度の計画策定に係るスケジュールを説明

次回の観光振興審議会を7月2日（火）14時から開催することを決定した。

以上

相模原市観光振興審議会委員出欠席名簿

区 分	氏 名	所属団体等		備考	出欠席
		名称	役職等		
学識経験者 ・ 専 門 家	内藤 錦樹	桜美林大学	名誉教授	会長	出席
		観光振興アドバイザー			
公 募 委 員	高橋 陽子	公募委員			出席
関 連 団 体	北村 美仁	(一社)相模原市観光協会	専務理事	副会長	出席
	大貫 幸雄	大島観光協会	会長		出席
	佐藤 泉	相模湖観光協会	会長		欠席
	関戸 昌邦	津久井商工会	会長		欠席
民 間 事 業 者	井上 康	(株)J T B 相模原支店	支店長		出席
	高堂 智佳	東日本旅客鉄道(株) 橋本駅	駅長		出席
	福重 隆一	相模湖リゾート(株) (富士急行(株))	専務取締役		出席